

農業参入に当たり、農業技術をどう確保していくかは重要な要素です。

農業技術は自社の社員が研修等によって身につける場合と、農業技術者を雇用して確保する場合があります。

農業技術を学ぶ

1 埼玉県農業大学校

県では、農業及びその関連産業の担い手を養成する専修学校として埼玉県農業大学校を設置しています。

課程	学科	専攻
2 年課程	野菜学科	施設栽培専攻
		露地栽培専攻
	水田複合学科	水田複合専攻
	花植木学科	花き専攻
		植木造園専攻
	酪農学科	酪農専攻
1 年課程	短期農業学科	短期野菜専攻
		有機農業専攻

2 就農予備校

(公社) 埼玉県農林公社がさいたま市の見沼田んぼ地内で就農予備校を開設しています。

コース	入門	初級	中級
1 年間	今までに農業の経験がない方	入門コースを修了した方、又は市民農園で農業研修を受講した方	初級コースを修了した方、又は市民農園等で農業研修を受講し、体力も農業技術も備えている方

農業技術者の雇用

農地所有者や周囲の農業者を雇用することによって、農業技術が確保できることに加え、地域の理解を得られやすくなります。

また、農業コンサルタントと契約し、農業技術者を一定期間農場運営に参画させることにより、自社社員の農業技術向上を図ることができます。